

常任委員会レポート

総務産業委員会

新型コロナウイルス対策、ため池改修等を調査

令和2年5月13日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

①政府の新型コロナウイルス対策について

国の政策は、第1弾、第2弾が感染拡大防止策と医療提供体制の整備、学校の臨時休業に伴う課題への対応、事業活動の縮小や雇用への対応を行いました。

第3弾は令和2年度の第1次補正により、「特別定額給付金」として、全住民に所得制限なく1人当たり10万円を支給することになりました。5月12日までの申請で



縮など協議しています。工事費がいくらになるかは調査しないとわかりません。財源には全額地元対策費を充てます。

③全町ため池耐震等調査業務について

ため池耐震等調査は昨年、新たな防災重点ため池の選定基準ができ、町では23カ所のため池を選定。令和2年度までにハザードマップを作成・公表し、令和3年度までに耐震調査、豪雨調査を実施することが求められています。

②泉井地区ため池改修等調査について

泉井地区の稲作営農の水源確保策と営農環境を整備することで活性化を図るための調査です。今、地元と事業の先送り、圧

福祉文教委員会

小中学校 再開へ

令和2年4月30日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

①保育所及び放課後児童クラブの現状の取り組みについて

登園自粛について、ひばり保育園では、定員の3分の2に当たる約90人が、ひばりゆりかご保育園では、2分の1に当たる30人がご協力いただいています。

もしも、感染者が出た場合は、二つのグループに分かれて保育し、保護者が医療従事者等である園児を預かれるように検討していました。学童保育では、長期休暇休業中と同じように8時から開所し、児童の受け入れをしています。

②小中学校の今後の取り組みについて

休校中は、各学校で作成したプリント、インターネットにより利用できる学習システムの活用、新学期の初日に配布した教科書などにより、家庭学習を行うよう進めてきたとのことでした。

臨時的な開所、平日の午前中から開所を行っている学童保育所には、国から財政支援で人件費等の補償があり、町からはアルコール消毒液、マスクの配布など衛生面での支援がありました。また、低学年の生徒には、小学校の協力体制もできていました。

負担の大きい支援員に、町としても人的な支援等をおこなって欲しいと、委員から要望がありました。

後は、夏季休業日を短縮して授業日を確保します。学校行事の精選・取り組み方の工夫・時間割編成の工夫により、授業時数の確保に努めます。委員からは

- ・通信環境による格差への危惧。
- ・児童生徒の家庭の通信機器環境の整備状況を調査すべきではなかったか。
- ・鳩山町として、子どもたちの健康を考えた対策をしっかりとっていたいただきたい等の真剣な質問、要望がありました。

「児童生徒のために、格差がないように、なおかつ、教育委員会としては効果があることを着実に進めてまいります」と答弁がありました。



給食がはじまりました